

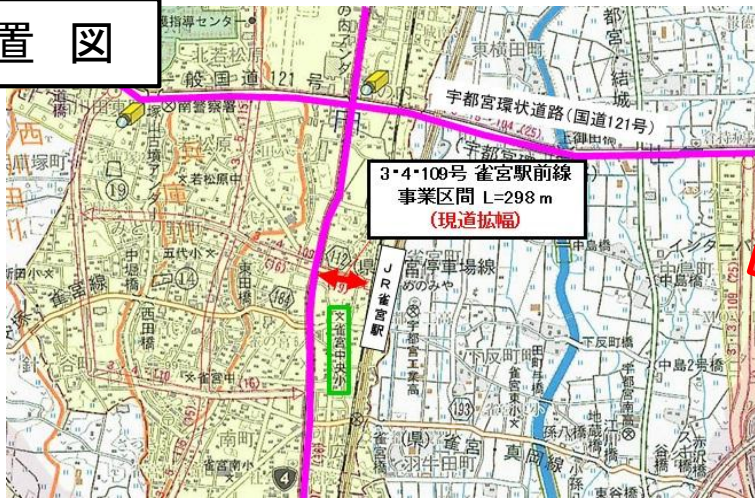
街路事業の再評価概要書

() は、当初計画時

番 号		1			
事業主体		栃 木 県			
事業名	街路づくり事業		事業所管課	県土整備部 都市整備課	
路線・河川名	宇都宮都市計画道路 3・4・109号 <small>すずめのみやえきまえ</small> 雀宮駅前線		事業箇所名	うつのみやし <small>すずめのみや</small> 宇都宮市 雀の宮	
事業区間	うつのみやし <small>すずめのみや</small> 宇都宮市 雀の宮 1丁目～3丁目		事業延長	298m	
H23年度事業化		S35年度都市計画決定 (H20年度変更)		H23年度用地着手	H24年度工事着手
事業期間	(H27) H23 ~ H31		事業 進 捗 状 況	基準年次：【平成27年度末時点】	
(うち用地補償費)	[12.8 (12.5)億円]			【うち用地補償費】	【 11.9 億円】
全体事業費	17.0 (17.0)億円		既投資事業費	13.5 億円	79%
事業概要					
<p>本都市計画道路は、JR宇都宮線雀宮駅を基点とし、国道4号を経て宇都宮市南西部の兵庫塚町に至る都市の骨格を形成する道路である。</p> <p>本事業区間は、雀宮駅から国道4号までの298mの区間であるが、本路線沿線には商店や飲食店が建ち並び、また雀宮中央小学校の通学路に指定されていることから、鉄道利用者、買い物客、通勤通学者など歩行者自転車及び自動車の交通量が非常に多い区間である。</p> <p>しかしながら、現況道路の幅員は6.5mと非常に狭い上、車線の区分も歩道もないため、特に朝夕の通勤通学時間帯には自動車と歩行者自転車が錯綜し、大変危険な状況にある。また国道4号との交差点部は渋滞が発生しており、主要渋滞箇所位置づけられている。</p> <p>さらに、宇都宮市は、宇都宮市都市計画マスタープランにおいて、当地区を「駅を核とした地域交流拠点」に位置づけ、東西自由通路、駅前広場、駅前周辺道路の整備など、都市機能の強化に取り組んでおり、国においても国道4号の拡幅整備を実施中である。</p> <p>このため栃木県は、本路線の現道拡幅と電線類地中化を実施することにより、安全安心な道路通行空間を創出し、円滑な通行を確保すると共に、交通結節機能の充実を図り、都市機能の強化を図るものである。</p>					
事業を巡る社会経済情勢の変化、事業計画の大幅な変更 等					
都市計画法に基づく事業認可期間の延伸					
事業の投資効果					
① 費用対効果分析結果					
		【総便益 (B)】		【総費用 (C)】	
1) 事業全体	B/C = 1.1	18.9 億円	17.0 億円		
2) 残事業	B/C = 5.2	16.1 億円	3.1 億円		
② 事業の整備効果等					
・安全安心な道路通行空間の創出		・交通結節機能の強化			
・交通の円滑化		・都市景観の向上と都市防災機能の強化			
事業の進捗状況等					
① 事業の進捗状況					
・用地取得済の区間から順次工事を推進している。					
② 今後の事業進捗の見込み					
・用地取得を推進し、平成31年の完成供用を図る。					
コスト縮減等					
① コスト縮減方策					
・再生骨材、再生アスファルト合材を積極的に活用しコスト縮減					
② 代替案立案等の可能性					
・すでに大部分の用地を取得しており、本計画が最適である。					
事業の対応方針 (案)		現計画で事業を継続する。			

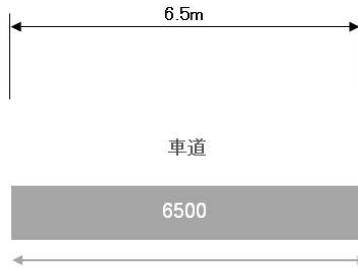
事業箇所(位置図・概要図)

位置図

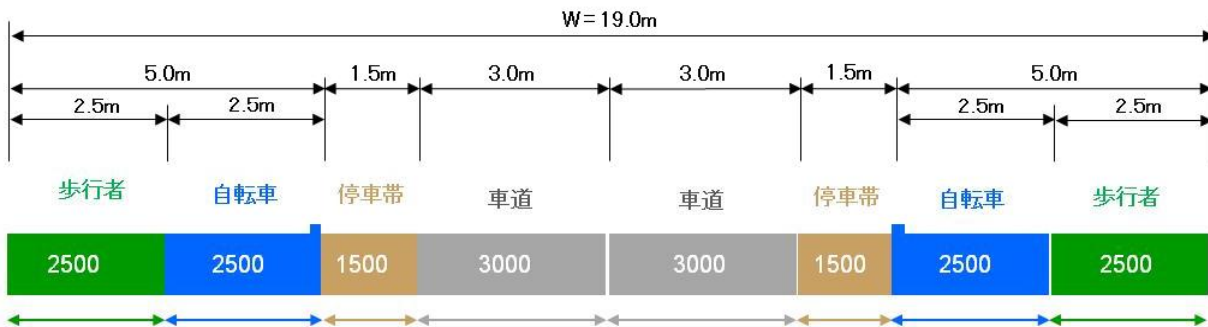


標準横断図

【現況】



【計画】



概要図

